

自分らしい人生をデザインする

包括的性教育実践力アップ  
連続オンライン講座

ライフデザイン

for Teachers

開催報告書  
[ダイジェスト版]

2022 12月17日(土) → 2023 1月12日(木)

主催：NPO 法人ピルコン  
助成：日本財団

## ライフデザイン for Teachers講座概要

生殖だけではなく、ジェンダーや人間関係を含め、人権に基づき幅広く、深く学ぶ「包括的性教育」。ユネスコから国際指針『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』が発表され、日本でも注目が高まっています。また、2023年度からは全国の学校において性暴力予防啓発を目的とする「生命（いのち）の安全教育」が始まります。

NPO法人ピルコンでは、学校現場においての包括的性教育の実践力を高めるために、様々な専門分野で活躍する講師から、具体的な実践の工夫についてや、教材サイトの活用方法もご紹介するオンライン講座「ライフデザイン for Teachers」を開講しました。

本講座では、全編オンライン開催で、性の学びを実践し広げたい方を対象に、性について幅広く学び、また、受講者同士での振り返りも行います。包括的性教育やジェンダー平等、SDGsに関心がある方、学ぶ場所や相話し合える仲間を探したいという方もお気軽にご参加ください。

実施期間	2022年12月～2023年1月 全8回講座
主催	NPO法人ピルコン
助成	日本財団
後援	“人間と性”教育研究協議会
対象	・今後、包括的性教育を学校や地域で実践したいと考えている教員や専門職、NPO等の方 ・テーマにご関心をお持ちの方
参加費	・教員の方（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、専門学校、高等専門学校等） 無料 ・教員以外の方 1講座 1500円 全8日程参加 9500円※第1回は全員無料で実施
参加方法	・オンライン・ZOOMにて実施 ・講座実施後、1ヵ月程度アーカイブ動画を申込者に配信
告知	ピルコンウェブサイト、SNSでの発信、関係者へのメールの他、男女共同参画センター等にご案内を送った。
申込・参加者数	講座には、のべ439名の申込があり、うち、無料枠の教員の申込が312名であった。後日視聴動画にも、多くのアクセスがあった。各回の申込者数・視聴者数は下記の通り。

参加回	無料枠 参加人数	有料枠 参加人数	アーカイブ動画 視聴回数	参加回	無料枠 参加人数	有料枠 参加人数	アーカイブ動画 視聴回数
全回申込	218	44	—	第5回	13	1	129
第1回	15	41	492	第6回	14	8	204
第2回	11	6	358	第7回	8	3	118
第3回	6	5	310	第8回	10	12	276
第4回	17	7	225	合計	312	127	2,112

## 第1回：日本における包括的性教育の課題と展望＜学校現場・保護者の声から＞

ライフデザイン for Teachers

「日本における包括的性教育の課題と展望 ～学校現場・保護者の声から～」

01 NPO法人ピルコン理事長  
染矢 明日香



全員無料

2022年12月17日 10:00-12:00

PILCON Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

日本における性教育の現状と課題や世界で広まる「包括的性教育」、また日本独自の施策としての「生命（いのち）の安全教育」について、学校現場や保護者の方の声もご紹介しながら、今後の展望について考える。また包括的性教育を広げていく上で参考となる、様々な教材やウェブサイトも紹介する。

### 主な内容・参考資料

#### 1. 若者を取り巻く性の現状と課題

・振り返り①日本の性教育の課題について、特にどの部分が大きいのと思いましたか？

#### 2. 包括的性教育とSRHR

参考：性教育動画AMAZE <https://pilcon.org/activities/amaze>

振り返り②包括的性教育とそうではない性教育はどこが違うと感じましたか？

#### 3. 学校現場・保護者の声

参考：包括的性教育教材ポータルサイト：ライフデザインオンライン

<https://lifedesign.pilcon.org/>

### 主な参加者の感想（一部抜粋）

- ・包括的性教育とガイダンスについて、改めて確認することができました。とてもわかりやすくまとめていただき、授業内容を考えるための参考になります。（中学校教員）
- ・性教育について学び、まず実践してみる！という気持ちが強くなりました。（中学校教員）
- ・色々なサイトの紹介などがあり、今後の保健教育に活用できそうです。（高校教員）
- ・日本における性教育の変遷と指導内容についての情報がアップデートできてよかったです。（その他教員）
- ・学校で生徒対応をしながら参加させていただいたので、途中聞けない部分もありましたが先生のお話がとても聞きやすく、価値ある講習会でした。以前性教育を企画したときに「こんなこと教えていいのか」とか「自分からはこんなこと生徒に話せない」とかそういった意見もあり、嫌がる教員が一部存在していました。別に性教育は恥ずかしいことではないし、「知識がないこと」が一番怖いことだと思うので、今後も正しい知識を発達段階に応じて生徒に伝えられたらと思っています。（もちろん教員にも性教育の大切さを伝えたいですが）また、「性交」をどう教えるかが今後の課題だと思っています。（養護教諭）
- ・包括的性教育の概念が教育現場に普及するために今後も活動していきたいと思う。新しい媒体が増えてきているので紹介いただいたものも活用していきたいと思った。（看護師・保健師・助産師）
- ・性教育の歴史や日本における性の現状について、データに基づいた説明を聞くことができたのはとてもよかった。途中のワークで、日本の性教育の課題や自分自身の被教育体験を振り返り、チャットに記入することがあったが、他の方の教育体験を聞くことができ、私自身の世代と他の上の世代と変わっていないことに驚いた。今後の性教育の実践において、オンラインを活用したコンテンツや学習でどんなことができるのかを考えていきたい。（大学生）

## 第2回：性の多様性とジェンダーをどう伝える？

ライフデザイン for Teachers

「性の多様性とジェンダーをどう伝える？」

02 埼玉大学基盤教育研究センター准教授 渡辺 大輔 さん



2022年12月18日 10:00-12:00

PILCON Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

「誰一人取り残さない」を理念とするSDGs（持続可能な開発目標）では、ダイバーシティやジェンダー平等の理解も目標達成に関わる重要な要素である。多様な性のあり方やジェンダーについての理解を深め、また子ども・若者たちと主体的に考え、実践する学びについて考える。

### 主な内容・参考資料

#### 1. 講座「いろいろな性、いろいろな生き方」体験

■振り返り①どんなことで「男だから」「女だから」と言われた/言ってしまったことがありますか？

#### 2. 講座を行うにあたってのポイント

■振り返り②どうしたら多様性を受け入れる学校を実現できると思いますか？

#### 3. 補足

①：教職員を目指す性的マイノリティ当事者への支援の在り方について

②：教科書の「性の多様性」の書かれ方について

■参考：季刊セクシュアリティ108号（特集：絵本で学ぶ性の権利と多様性）<https://amzn.to/3Mf68kL>

### 主な参加者の感想（一部抜粋）

・多様な性については言葉の使い方等配慮が必要で何を配慮したらよいという点で自信がありませんでした。ですのでも勉強になりました。（大学教員）

・学生に話す内容がぶれずにストレートに伝えている先生に希望がみえました。私ももっと楽しくがんばっていききたいと思います。（中学校教員）

・多様性を認め合い、どんな学校にしていきたいか生徒と一緒に考える授業をやっていききたいと思います！（その他教員）

・今回の授業はスケジュールなどの関係で後日視聴にしようかと迷っていたのですが、リアルタイムで参加することで、「生徒が受講するときにどんなことが気になるか」想像しながら受講することができました。他の方のコメントを読むことができたのもよかったです。授業での伝え方を再考する上でとても参考になりました。（高校教員）

・性のあり方の図の説明の部分が「確かに人によっては違和感を感じるかもしれない。そもそも性を図で表すのって難しいな」と気づかされました。（看護師・保健師・助産師）

・「フツー」からの意識転換のはかり方にヒントをありがとうございます。どんなセクシュアリティも平等の中に居るということを全面に出して中学校の学習内容を見直したいと思いました。本校では校則の見直し時期にあります。これまで口にしようかどうかと迷う自分があり遠回しに言っていました。髪型などは生徒の声を反映してもよいという意見を言ってみようと思えました。（中学校教員）

・講座の中で、普通や特権性について、扱われていたのが印象的だった。セクシュアリティを理由とした差別や偏見がどのような構造で行われているかを知る上で、すごく大切な考え方だと思ったので、今後、取り入れていきたい。（大学生）

## 第3回：中学校における包括的性教育の実践

ライフデザイン for Teachers

「中学校における  
包括的性教育の実践」

03 元公立中学校教諭  
樋上典子 さん



2022年12月18日  
13:00-15:00

PILCON Supported by THE NIPPON FOUNDATION

中学校の保健体育の学習指導要領では、いわゆる「はどめ規定」と呼ばれる「妊娠の経過は取り扱わない」という記載がある。一方で、実際には妊娠や性交渉、関係性について悩む子ども・若者たちも多く存在する。本講座では、中学校で包括的性教育の実践に携わってきた講師より、その工夫や生徒の反応、学校・地域での理解を深める取り組みを紹介する。

### 主な内容・参考資料

#### 1. 性をめぐる学校教育の課題

■参考：「生命（いのち）の安全教育」

出典：文部科学省ウェブサイト ([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/danjo/anzen/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html))

#### 2. 中学校の保健体育の教科書

#### 3. 仲間たちと考えてきた包括的性教育の実践——「性の学習」

・『実践 包括的性教育——『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』を活かす』（エイデル研究所、2022）<https://www.eidell.co.jp/books/?p=11270>

#### 4. 講師からのメッセージ

### 主な参加者の感想（一部抜粋）

・「知識だけでなく話し合える“関係性”が大事」という言葉が響きました。ここの土台が「相談できる関係」にも繋がっていきけるのではと感じています。現在の学校教育の中でマンパワーが足りない中、どこまでできるかは分かりませんが、教員だけでなく色々な職種と連携し…“線”の関係ではなく“面”の関係性を子どもたちと持っていったらなあと思っています。貴重なお話をありがとうございました。（看護師・保健師・助産師）

・この講座の中で、性教育の実践を作っていく上で、子どもたちの実状や現状を踏まえて、プログラムを考えていくというのはすごくいいと感じた。私自身の被教育体験では、外部講師が年に1回来て、講座をすとか、授業であったとしても、教科書を読んだり、動画を観たりするだけだったので、そのような授業を受けたかったと感じた。（大学生）

・子どもたちを主体にしているところ、いろんな人に授業公開しているところ、そこもいいですね。高校なので、実施には管理職と教育委員会の理解が大きいのでなかなか時間が取れないというところはあります。高校には高校の主にしたい課題があるようにも思います。（高校教員）

・子ども達の未来のためにやっている活動が、名指しで批判されているなんて衝撃でした。タブーと言われる性について話せる場を作れることが、信頼関係を作れる安心安全の場を作ることにつながると納得でした。15歳から16歳の中絶の件数が一気に上がる現実を、もっと中学校教員に強く訴えて行かなければいけないと強く感じました。（中学教員）

・義務教育で性教育を行うことの大切さを日々実感しています。対話的要素を取り入れた性教育の実践に悩んでいたのが、目から鱗でした。書籍を購入して、包括的性教育の視点を取り入れた実践を所属校でも挑戦していきたいと思います。（中学教員）

## 第4回：高校生と考える性的同意

ライフデザイン for Teachers

「高校生と考える性的同意」

04 一橋大学等非常勤講師  
水野 哲夫 さん

2023年1月7日 土  
10:00-12:00

PILCON Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

性的同意とは、性的な行為にあたり、その行為を積極的にしたいというお互いの意思を確認する行為である。性暴力の防止、安心した関係性に繋がる性的同意を高校生と共に考える授業づくりやその工夫について紹介する。

### 主な内容・参考資料

1. 「性的同意」をめぐる「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の記述紹介
2. 「性的同意」をめぐる学習課題を考える
3. 授業実践例 高校生とともに考える性的同意

授業実践例① 人間関係を考える

授業実践例② 性暴力と性的同意について考える

- ・ココカラ学園 Yahoo!きっず <https://kids.yahoo.co.jp/sei/>
- ・ユネスコ「改訂版 国際セクシュアリティ教育ガイダンス」  
<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167>
- ・斉藤章佳著「男が痴漢になる理由」<https://amzn.to/3vIH1iX>
- ・性被害・ほんとうのこと 動画 <https://www.youtube.com/@user-hr7lv7bv5d>
- ・生命の安全教育 資料 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/danjo/anzen/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html)

### 主な参加者の感想（一部抜粋）

・暴力の話に入る入り口として、人間関係から入るといってお話はなるほどと思いました。参考にさせていただきます。貴重な資料も共有していただき、ありがとうございました。講座の中で、動画なども利用していきたいです。（看護師・保健師・助産師）

・いのちの安全教育をせっかくやるならよいものに…に激しく同意です。文科の資料を具体的にどう変えたら包括的性教育に近づけられるかが提示されてとても参考になる資料等がたくさんありました。ありがとうございました。（高校教員）

・雑誌回答を書いてもらう授業や、どういうレポート課題を出しているのかなど、とても興味深かったです。こんな内容、時間数の授業がスタンダードであったなら…。（看護師・保健師・助産師）

・全体に、同意についての必要なことを深く教えていただいたと思います。今回はそもそも「同意」をテーマとして設定されていたこと、そして性の場面だけでなくあらゆる場面が必要なこととお話いただいたことで、視野が広がる感じがしました。基本的なあるべき認識に名前がついて、誰にでもわかりやすくなったものですが、もともととても大切なことだと思うので、「生命の安全教育」の中で欠かさず取り上げられるものになってほしいと願います。引き続き実践的なノウハウなど含めてさまざまに「同意」についての講座を設けていただきたいと思います。（会社員）

・痴漢も性暴力だと伝えておくこと、確かにと思いました。（中学校教員）

## 第5回：年間指導計画を作ってみよう

ライフデザイン for Teachers

「性に関する指導  
年間指導計画を作ってみよう」

05 一橋大学等 非常勤講師  
水野 哲夫 さん

ワーク  
ショップ  
あり

2023年1月7日 土  
13:00-15:00

PILCON THINK ABOUT LIFE & LOVE Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

文部科学省が「生命の安全教育」を全校で行うことを推奨しているなか、どのように性教育の年間指導計画を作成していけばいいのか？そのヒントを実際にワークショップで作成することで学ぶ。

### 主な内容・参考資料

1. 何の制約もないとしたら？ワークショップ
2. 独立型か統合型か
3. 1年間だけでなく、3年間で展望して

- ・ココカラ学園 Yahoo!きっず <https://kids.yahoo.co.jp/sei/>
- ・性教協 障害児・者サークル <https://shogaiji.seikyokyo.org/>
- ・性教協ウェブサイト <https://www.seikyokyo.org/>
- ・ヒューマンセクソロジー改訂版 <https://amzn.to/3ioKb8j>
- ・実践 包括的性教育―『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』を活かす  
<https://www.eidell.co.jp/books/?p=11270>
- ・ユネスコ「改訂版 国際セクシュアリティ教育ガイダンス」  
<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167>
- ・東京都「性教育の手引」 <https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/about.html>

### 主な参加者の感想(一部抜粋)

- ・東京都が他の教科との関連について資料を出していることを知れてよかった。性に関する指導をカリキュラムに組み込みたいとは思っているがどうして良いか分からなかったので参考にしたい。(小学校教員)
- ・性教育を学んできていない管理職が、性教育にストップをかけてしまうのは本当にもったいないと思います。人権教育としての性教育が教科書に載ることを期待しています。(中学校教員)
- ・疑問を解決できそうになってきました。勇気をいただきました。大東学園高校が、学校の民主化を行うなかで性教育が育つ基盤ができたことに感銘を受けました。(高校教員)
- ・頭の中にある伝えたいことをすべて書き出し、何の制約もなければこうする、という事柄を考えてみるのは、自分の意識や知識の整理ができるので改めてやってみたいと思いました。(看護師・保健師・助産師)
- ・養護教諭は保健体育の授業以外にも、道徳や関係する教科のところで、全体の教員と相談をしながら対応策について考えていく方が良いと学んだ。日常的のさり気ないところからでも、児童や生徒に関わるような内容を考えてみるのも、性教育として必要であると感じた。(大学生)
- ・独立型と統合型と、どちらも組み合わせると効果的に進めていければ理想的だと思います。負担をできるだけ増やさず、学校全体として取り組んでいける形を示さなければ、職員の理解は得られにくいと思っています。実践例をあげていただいたので、これから自校の実態に応じて、やれることから始めていきたいです。(中学校教員)

## 第6回：10代の妊娠と学校における性教育

ライフデザイン for Teachers

「10代の妊娠と  
学校における性教育」

06 性教育講師 / 思春期保健相談士  
にじいろさん

2023年1月8日 9:30-11:00

PILCON Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

元養護教諭で現在はフリーランスの性教育講師として活躍するにじいろさんを講師にむかえ、10代の妊娠の現状とその後の選択肢、学校でできる妊娠後のサポートについて検討する。また、地域において、多職種が連携し、性教育の学びを広げていく重要性や工夫についても共有し、参加者とともに考えていく。

### 主な内容・参考資料

#### 1. はじめに

■参考：『10代の妊娠——友だちもネットも教えてくれない性と妊娠のリアル』（合同出版、2021年）<https://www.godo-shuppan.co.jp/book/b591762.html>

#### 2. 10代の妊娠の現状と選択肢

#### 3. 学校でできるサポートと性教育

#### 4. 地域での多職種連携の重要性

■参考：孤立する母子を救えるか 増加する“特定妊婦”

出典：NHKクローズアップ現代ウェブサイト（<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4680/>）

■トピックス：みなさんは打ち合わせで・・・どんなことを確認する？どんなことを予習する？

・『国際セクシュアリティ教育ガイダンス（改訂版）——科学的根拠に基づいたアプローチ』（明石書店、2020）<https://www.akashi.co.jp/book/b525618.html>

・『あの子の子ども』（別冊フレンド／講談社、2021～）<https://betsufure.net/comics/1000039727.html>

### 主な参加者の感想（一部抜粋）

・意図しない妊娠はおこるもの、というスタンスにハッとしました。大人であっても知識はあってもおこるものです。その前提で教育も行政も仕組み作りが必要ですね。教員も、行政の人も味方、と思ってもらえるよう努力していきたいと思います。（高校教員）

・知らなかったことがとても多く、様々なことを得ることができました。実際の10代の妊娠した方の人数や中絶した方の人数など具体的な数値などがあることでどれだけ身近な問題なのかを感じることができました。性に関することに限らず、私たちが生きていく上で、人とのつながりがとても大切だということを学ぶことができました。たとえば、誰かに相談する環境を作ることや、第三者の方と繋げるためのコミュニティを作るなど、いろいろな繋がりを作ることで、行きにくい場所に行きやすくするなど連携をする必要があるということです。また、学校で実際に働いている方からなどのコメントや質問などからも、知らなかったことやその現場にいる方にしかわからない問題を知ることができ良かったです。（大学生）

・命は大切。だけどあなたが大切のメッセージ。同感です。講師のにじいろさんは、3年前のNHKの視点・論点でお話されていた方ですね。私も養護教諭で同じ気持ちだったのです。今回の講座を楽しみにしていました。やっぱり予想通りです。いいお話でした。そして、また微力だけど、生徒に伝えたいと感じています。本を購入します。（中学教員）

## 第7回：性に関するワークショップ・ファシリテーション

ライフデザイン for Teachers  
「性に関するワークショップ  
ファシリテーションの実践」  
07 NPO法人ピルコンフェロー  
金ハリム/高橋 宏美  
ワークショップあり  
2023年1月8日 11:15-13:00  
PILCON Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

性についてディスカッションすることがタブー視されてきたなかで、参加者が性に対しても、自分に対してもポジティブになれるようなディスカッションを進行するファシリテーション方法についてグループワークを通して学ぶ。

### 主な内容・参考資料

1. そもそもファシリテーションって？
- 2-1. ファシリの開始から終了まで(少人数・多いグループの場合)
- 2-2. ファシリの開始から終了まで(オンライン、Zoomの場合)
3. やっていいことと、やってはいけないこと
- 4-1. 事例(ピルコンの性教育講演でよくある事例)
- 4-2. これまで実際にあった事例(ピルコンの性教育事例から学ぶ)
5. 学校内にAlly(アライ)を作る
6. 性について楽しくディスカッションできるように

### 主な参加者の感想(一部抜粋)

・ファシリテーターにはその役割そのものが他者の人権を尊重する態度ということが分かり、保健室であれ、性教育実践の場であれ、そのようにありたいと思いました。そのスキルを持つと包括的席教育を体現できると思いました。また、学級経営においても担任が生徒の人権を尊重してそこに居るためには、是非校内で取り上げてみんなで研修したいと思いました。(中学校教員)

・ファシリテーションを初めて行いました。日々学校でしていることと同じですね。こういう会話になることは保健室でも時々あります。講演形式とワークショップ形式どちらの性教育が生徒にとって有効なのだろうと疑問に思って参加したのですが、想像していたものと違いました。どちらも大事なんですね。子供たちがよいディスカッションをするには知識が必要なのだと感じました。参加してよかったです。(高校教員)

・性教育のグループワークやファシリの大変さや、工夫について学ぶことができました。もしいじめや誹謗中傷につながりそうな場合は、ファシリや教員が止めに入り、ケアをしていく発言もしていた方が良いと思った。私は、加害者もいるかもしれないという視点が抜け落ちてしまっていたため、その場合も配慮していこうと考えた。(大学生)

・ファシリテーターの手腕で同じ時間内に個々の意見を引き出せるかどうかが全く違ってくると思いました。難しいですが、方法を学ぶことと経験を重ねていくことが大切ですね。そしてうまくいかなくてもめげないメンタルも大事です。(看護師・助産師・保健師)

・ファシリテーターの役割について、より学べた。また、インクルーシブな用語について考えることができ、社会全体が意識できるように私から変えていきたい(中学校教員)

## 第8回：性暴力とトラウマインフォームドケア

ライフデザイン for Teachers

「性暴力と  
トラウマインフォームドケア」

08 野坂 祐子 さん  
大阪大学大学院  
人間科学研究科准教授・臨床心理士



2023年1月12日 木  
18:00-20:00

PILCON Supported by 日本 THE NIPPON 彩園 FOUNDATION

性暴力や犯罪被害等によるトラウマやグリーフに関する研究と臨床を専門とする講師から、トラウマインフォームドケア（TIC）の概念を学び、性被害を受けた子どものケアや支援のポイントについて学ぶ。

### 主な内容・参考資料

#### 1. 身近な支援者が実践できる「トラウマインフォームドケア（TIC）」の姿勢

振り返り①トラウマインフォームドケアの重要性について

#### 2. 性暴力、性的虐待とトラウマの症状について

振り返り②境界線の認識とその周知について

#### 3. トラウマインフォームドケアの実践

参考：『わたしに何が起きているの？～自分についてもっとわかるために～』子どもの性の健康研究会

[http://csh-lab.com/leaflet\\_download](http://csh-lab.com/leaflet_download)

#### 4. まとめ

参考：『トラウマインフォームドケア：“問題行動”を捉えなおす援助の視点』野坂祐子(2019)日本評論社

<https://www.nippsy.co.jp/shop/book/8203.html>

### 主な参加者の感想（一部抜粋）

・リスクに警鐘を鳴らすよりもニーズを満たすことの重要性を再認識しました。家庭的にニーズが満たされない子供がたくさんいる中で（それも親自身の問題というよりは社会構造の問題ですが）学校の役割は非常に大きいと痛感します。教員になる前の大学でTICも含めた性教育について学べる仕組みがあると子供の救いになるのではないかと思います。（中学校教員）

・境界線を破った、破られた状況を「親密」と認識する、という箇所にドキッとしました。大人が子供の境界線（バウンダリー）を侵害していることが多いことに思い当たります。また兄弟姉妹間など、閉じられた空間にいる近い関係で起こりやすいことだと思いました。私は少しずつ性教育を学んでいる途中ですが、これらかも知識をアップデートし続けていきたいと感じました。（医師）

・これまで、被害にあった先の方への影響などを考えたことがなく、精神的な影響がとても強く残るということを理解することができました。たとえ一時的に感情が落ち着いたとしても、何らかの影響によって再びトラウマになってしまったり、心に傷が深く残ってしまったりなど、被害を受けている瞬間に限らずその後の被害についてもより深く考えていくべきだと感じました。（大学生）

・境界線を守ること、大人がまずルールを守る姿勢、支援者のトラウマ再演について勉強になりました。性暴力については今後も学びたい。（看護師・保健師・助産師）

・一人で対応しない、組織で対応とのことでしたが、もっともっと職場の仲間と共有していかなくては、とあらためて感じました。（高校教員）

---

## 参加者へのアンケート結果・今後の展望

### 1. 性教育への自信について

第1回講座において、開始時に参加者に性教育への自信についてアンケートを行ったところ、「ややそう思う」：50%（70名中35名）、「とてもそう思う」：2%（70名中2名）だったのに対し、第8回目の講座後では、「ややそう思う」：47%（30名中14名）、「とてもそう思う」：20%（30名中6名）となり、「とてもそう思う」の割合が増加した。

※ただし、第1回目の講座ではリアルタイム参加の方の回答に限られたこと、また第8回目の講座ではそれまでの講座受講履歴にバラつきがあったため、純粋な比較データにはなっていない点で調査方法に課題があると言える。

「とてもそう思う」と答えた参加者からは、「子どもの支援者として、また、支援者を支援する立場として、知識やスキルを得ることができた」「すでに実践しているから」等の意見があった。また、それ以外を答えた参加者からは「職場に理解者がいない状況で困っていたが、まずは教職員自身の捉え方、考え方に偏りや歪みがないかなという視点からのアプローチと正しい知識を伝えるために、何ができるかを考えて動く事からが始まりだと自信が持てた」「この分野に関してはまだ学びが足りていない。また別な機会でも同じような話を聞きながら知識を定着させたい」「性教育を実践しているが、ジェンダーバイアスをなくすこと、偏見を持たないことなどをしていく必要がある」等、いずれも前向きな意見をいただいた。

### 2. 講座全体を通しての感想

今回の受講者に全体を通しての感想・ご意見を伺ったところ、講座内容の充実、無料講座やアーカイブ動画への評価、今後の期待などの意見を多くいただき、主要な感想を下記に掲載する。

#### 【講座内容の充実】

- ・8回全部に参加させていただきましたが、豪華な講師陣と充実した内容に心から感謝です！性教育をこんなに大切に思っている仲間に出会えてとても励まされました。
- ・第一回目と最終回のみ参加でしたが、連続講座で先生方の学びを支援する素晴らしい企画をありがとうございました。社会を変える具体的な活動、深く感謝いたします。
- ・いろんな角度からお話いただいたり情報をいただけて有意義な時間でした。職場の先生方とも共有できたら、と思います。ほんとうにありがとうございました。今後も教材を利用させていただいたりしたいと思います。
- ・まだ全部は視聴できていませんが、外部講師として講演活動を続けているものにとってとても良い企画でした。パソコンのサイトはいろいろ活用させてもらっています。今後ともよろしく願いいたします。
- ・分かりやすく、講師の方々が熱心に講義してくださいました。犯罪被害者支援センターに所属しているので、性暴力被害の相談が減少しないことやSNSによる新たな問題が若年層に増えていて、その対応をしています。子どもだけでなく大人に問題があることが多く根が深いと日々感じています。教育の大切さを感じますし、性教育を世間一般の人に知っていただく事が重要だと思います。
- ・今回、充実した講座を開催してくださり、感謝しかありません。特別支援学校の生徒に向けて性教育の授業をすることは、私自身の力のなさ以外にも、さまざまなハードルを感じることもありますが、たくさんの正しい情報を入れて、学び続けたいと思います。ありがとうございました。

・このような良い講義の数々を視聴させていただき、本当にありがとうございました。とても勉強になりました。どちらも多様性のひとつであるのに、多数派であるシスジェンダー・異性愛者が、少数派であるその他を受け入れ理解してあげようという方向・構造があることは今回の講座を通して意識できたことの一つです。自分自身、知識も意識もまだまだですが、生徒にはどの人も安全に幸せに生きていく権利があることを伝えたいし、その手伝いをしていきたいです。子どもにとって身近で安心な信頼できる大人となれるようこれからも勉強していきたいと思います。命の安全教育の推進に伴い、多くの教科担当教員もこのような研修を必要とすると思いますので、今回の連続講座を今後も視聴できる状況になるとありがたいです。

#### 【無料講座への評価】

・このような質の高い研修が、場所を選ばず無料で受けられるなんて大変ありがたいです。また、アーカイブを用意していただけるので、おかげですべての講座を視聴できそうです。中学生への性教育についての講座が即活用できそうです。実践に活かしてみます。ありがとうございました。

・無料で連続講座を開いてくださった事、本当にありがとうございました。教育現場の一員として、問題を突きつけられたままで終わらせるのではなく、一歩踏み出そうと思います。背中を押してくれた明日香さんはじめ多くのピルコンの皆さん、講師の先生方、一緒に学んだ参加者達全てに感謝し、一緒に包括的性教育をすすめていきたいと思っています。

#### 【アーカイブ動画への評価】

・アーカイブ視聴がとてもありがたかったです。知らなかったホームページや、情報発信を知ることができました。教員対象に無料というのも、ハードルが低くて良かったです。またやってほしいと思っています。ありがとうございました。

・まだ全部視聴していませんが、とにかくアーカイブ配信していただいたことが本当に助かりました。最近オンライン学習会が目白押しで、とても興味のある内容でも、自分の状態を保つために参加を見合わせることも増えています。アーカイブ配信していただけることで、焦らず無理なく学ぶことができ本当によかったです。しかも、無料なんて...お金払ってでも聴きたい講座でした。ありがとうございました！

・まだ見れていないアーカイブもこれから見ます。アーカイブ配信ありがとうございます。

・アーカイブに助けられました。

#### 【その他今後への要望・期待】

・今後機会を作って、外部講師として小学生に包括的性教育を伝えたいのですが、外部講師向けの講座も開設していただくと幸いです。講義後にミーティングルームを開設していただき、受講者の方々との交流を通してとても楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。

・まだ2つ目の講座ですが、どのトピックも興味深く、これからアーカイブを視聴するのが楽しみです。新シリーズを期待しています。ありがとうございました。

・子どもたちへの包括的な性教育を行うために、職場に仲間をつくることから始めます。

・大変充実した研修会で大満足でした。全て受講することはできませんでしたので機会がありましたら、今回参加できなかったテーマについても受講したいと思います。ありがとうございました。

・とても良かったです。どの講座もわかりやすいものばかりでした。学校の先生の実践講座などがあるとまた受けたいです。この講座は普段から性教育に興味のある人が受けていると思います。私もその1人です。同僚や知

っている養護教諭仲間には伝えましたが、もっと広範囲に、例えば各自治体の教育委員会や、養護教諭の研究会などから一斉メールを流してもらうなどは難しいでしょうか、、、

- ・定期的に開催してほしい

### 3. 考察・今後の展望

今回の事業では教員を中心にのべ400名以上の講座申込があり、そのニーズの高さがうかがえた。受講者の性教育への自信の向上に一定つながった可能性があるが、性教育には知識だけではなく、価値観の見直しや職場における理解を広げることも重要であり、継続的なサポートの必要性が考えられた。また、講座については、専門性を持つ多様な講師により構成されたこと、無料であること、アーカイブ配信があり、都合のよいタイミングで見返すことができたこと、ディスカッションや他参加者との交流があったことなどが特に好評であった。今後も開催や、より広範囲に告知・通知を広げてほしいという要望もあり、広報の仕方を含めて検討し、より多くの教員や性教育にかかわる方への受講につなげていく余地が考えられた。

2023年3月発行

発行元：NPO法人ピルコン

助成：日本財団

本報告書の内容の無断転載・転用を禁止します。